

注3

大学番号：私189

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 学務部

職名・氏名 フチャウ ニシムラ リカ
部長 西村 里佳

電話番号 0562-93-2553

（夜間） 0562-93-2553

F A X 0562-93-4595

e-mail hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療科学部

＜医療検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人藤田学園

(2) 大学名

藤田医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オノ ユウイチロウ) 小野 雄一郎 (平成23年4月)	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成30年10月)	任期満了に伴う変更 平成30年10月2日(元)
学長	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成26年4月)	(サイトウ エイチ) 才藤 栄一 (平成31年4月)	辞任に伴う変更 平成31年4月1日(元)
学部長	(カナダ ヨシキヨ) 金田 嘉清 (平成23年5月)	(サイトウ クニアキ) 齋藤 邦明 (平成31年4月)	学部再編に伴う変更 平成31年4月1日(元)
学科長	—	(イチノ ナオヒロ) 市野 直浩 (平成31年4月)	学科設置のため 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療科学部 医療検査学科 学士(医療検査科学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	140人	— 年次人	560人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	140 (-) [0]		() []		() []		() []		() []		1.00倍	—	
志願者数	1217 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	1212 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	344 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	140 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.00												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [—] (—)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			140 [—] (—)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	140 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療科学部 医療検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野	科学的思考の基盤	1前	1								1
	細胞生物学	1前	1								1
	分子生物学	1後	1								1
	化学	1前	1			1					
	医療応用化学	1後	1			1					
	物理学	1前	1								1
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	0	0	0	0	3
	人間と生活	1前		1							1
	教育学	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
生命倫理学	1前	1								1	
法学	1前		1							1	
音楽療法	1前		1							1	
スポーツ・健康科学	1前・後	1								1	
安全救急法	1前・後	1								1	
総合講座	2前	2			1					1	
小計(9科目)	-	5	5	0	0	1	0	0	0	9	
コミュニケーション技法の基盤	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	1前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後	2								1
	英語Ⅳ	2前・後	2								1
	ドイツ語	1前		2							1
	中国語	1前		2							1
	医療コミュニケーション演習Ⅰ	1通	1			1					1
	医療コミュニケーション演習Ⅱ	2通	1			1					1
小計(8科目)	-	10	4	0	2	0	0	0	0	6	
合計(23科目)	-	21	9	0	3	1	0	0	0	18	
専門基礎分野	人体の構造と機能	1前	1			1	1				
	解剖学Ⅱ	1後	1			1		1			
	組織学実習	2前	1			1	1		1		
	人体解剖学実習	2後	1			1	1		1		
	生理学Ⅰ	1前	1				2				
	生理学Ⅱ	1後	1				2				
	生化学Ⅰ	1前	1				2				
	生化学Ⅱ	1後	1				2				
	小計(8科目)	-	8	0	0	1	5	0	1	0	0
	医学概論	1前	1			1					
	病理学	2前	1			1					
	生体防御学	1前	1				1	1			
	統計学	1後	1								1
医療統計学	2後	1			1						
医療検査学入門Ⅰ	1前	1			4	1	1				
医療検査学入門Ⅱ	1前	1			1						
小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	2	1	0	1	
保健医療福祉と医学検査	公衆衛生学	2前	1			1			1		
	疫学	2前	1			1			1		
	公衆衛生学実習	2前	1			1			1		
	社会保障制度概論	2後	1								1
	関係法規	3前	1				1	1			
	看護学概論	3前		1							1
	小計(6科目)	-	5	1	0	1	0	1	2	0	2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野	科学的思考の基盤	1前	1								1
	細胞生物学	1前	1								2
	分子生物学	1後	1								2
	化学	1前	1			1					
	医療応用化学	1後	1			1					
	物理学	1前	1								1
	小計(6科目)	-	6	0	0	1	0	0	0	0	4
	人間と生活	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	文化人類学	1後		1							1
生命倫理学	1前	1								1	
法学	1前		1							1	
音楽療法	1後		1							1	
スポーツ・健康科学	1前・後	1								2	
安全救急法	1前・後	1								1	
総合講座	2前	2				1				1	
小計(9科目)	-	5	5	0	0	1	0	0	0	10	
コミュニケーション技法の基盤	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	1前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後	2								1
	英語Ⅳ	2前・後	2								1
	ドイツ語	1前		2							1
	中国語	1前		2							1
	医療コミュニケーション演習Ⅰ	1通	1				3	1	1		1
	医療コミュニケーション演習Ⅱ	2通	1				1				1
小計(8科目)	-	10	4	0	3	1	0	1	0	8	
合計(23科目)	-	21	9	0	4	2	0	1	0	22	
専門基礎分野	人体の構造と機能	1前	1				1				1
	解剖学Ⅱ	1後	1				1				1
	組織学実習	2前	1				1	1	1	0	
	人体解剖学実習	2後	1				1	1	1	0	
	生理学Ⅰ	1前	1					2			
	生理学Ⅱ	1後	1					2			
	生化学Ⅰ	1前	1				1	1			
	生化学Ⅱ	1後	1					2			
	小計(8科目)	-	8	0	0	2	5	1	0	0	1
	医学概論	1前	1			1					1
	病理学	2前	1			1					
	生体防御学	1前	1				1		1	1	
	統計学	1後	1								1
医療統計学	2後	1			1						
医療検査学入門Ⅰ	1前	1			4	1	1				
医療検査学入門Ⅱ	1前	1			1						
小計(7科目)	-	7	0	0	9	7	9	3	1	3	
保健医療福祉と医学検査	公衆衛生学	2前	1			1			1		
	疫学	2前	1			1			1		
	公衆衛生学実習	2前	1			1			1		
	社会保障制度概論	2後	1								1
	関係法規	3前	1				1	1			
	看護学概論	3前		1							1
	小計(6科目)	-	5	1	0	1	0	1	2	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	医用工学	1後	2					1				2
	医用工学実習	2前	1			1	2	1				
	情報科学	1前	1					1				
	情報科学実習	1後	1					1				
	小計(4科目)	-	5	0	0	1	2	1	0	0		2
	電気工学	3後		2								1
	電気工学実習	4前		1								2
	電子工学	3後		2								1
	電子工学実習	4前		1								1
	機械工学	3前		1		臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎					1	
	応用数学	3前		1								1
	計測工学	3前		1								1
小計(7科目)	-	0	9	0	0	0	0	0	0	0	5	
情報処理学	3後		2								1	
システム工学	3後		2								1	
小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計(34科目)	-	25	14	0	5	7	3	4	0	0	10	
専門分野	臨床病態学 I	3前	1									1
	臨床病態学 II	3前	1									1
	臨床病態学 III	3前	1			4	2	1				
	臨床病態学演習	4前		1								1
	病態生化学	3前	1			2	1					
	薬理学概論	3前	1			1						
	代謝栄養学	3前		1		1						
	臨床薬理学	4前		1			1					
	小計(8科目)	-	5	3	0	4	3	2	0	0	0	1
	臨床細胞病理学 I	2前	1			1		1				
	臨床細胞病理学 II	2後	1						1			
	臨床細胞病理学実習	3前		1		1		1	1			
	臨床血液学 I	1後	1			1	1					
	臨床血液学 II	2前	1			1	1					
	臨床血液学実習	2後	1			1	1					
	生殖医療概論	4前		1			1					
	臨床応用細胞学	4前		1		1						
	小計(8科目)	-	5	3	0	2	1	1	1	0	0	0
	臨床生化学 I	2前	2			1		1				
	臨床生化学 II	2後	2			2						
	臨床生化学実習	3前		3		1	1				1	
	放射性同位元素検査学	3前	2									1
	先進医療検査学	4前		1		1						
	検査機器総論	1前	1			2	1	2				
	基礎機器分析実習	1後	1			1	3	1				
	小計(7科目)	-	8	4	0	3	4	2	0	1	1	1
	臨床微生物学 I	1後	1					1				
	臨床微生物学 II	2前	1					1	1			
	臨床微生物学実習	2後	1					1	1			
	臨床免疫学 I	2前	1						1			
	臨床免疫学 II	2後	1						1			
	臨床免疫学実習	3前		1					1			
遺伝子検査学	2前	1				1						
遺伝子検査学実習	2前	1				2						
臨床遺伝学	4前		1			1						
感染制御学概論	4前		1				1					
医療コーディネータ概論	4前		1			1						
疾患モデル管理学	4前		1								1	
小計(12科目)	-	7	5	0	0	3	1	1	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	医用工学	1後	2					1				2
	医用工学実習	2前	1				1	2	1			
	情報科学	1前	1					1				
	情報科学実習	1後	1					1				2
	小計(4科目)	-	5	0	0	1	2	1	0	0		4
	電気工学	3後		2								1
	電気工学実習	4前		1								2
	電子工学	3後		2								1
	電子工学実習	4前		1								1
	機械工学	3前		1		臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎					1	
	応用数学	3前		1								1
	計測工学	3前		1								1
小計(7科目)	-	0	9	0	0	0	0	0	0	0	5	
情報処理学	3後		2								1	
システム工学	3後		2								1	
小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計(34科目)	-	25	14	0	9	8	9	4	1	13		
専門分野	臨床病態学 I	3前	1									1
	臨床病態学 II	3前	1									1
	臨床病態学 III	3前	1			4	2	1				
	臨床病態学演習	4前		1								1
	病態生化学	3前	1			2	1					
	薬理学概論	3前	1			1						
	代謝栄養学	3前		1		1						
	臨床薬理学	4前		1			1					
	小計(8科目)	-	5	3	0	4	3	2	0	0	0	1
	臨床細胞病理学 I	2前	1			1		1				
	臨床細胞病理学 II	2後	1						1	0		
	臨床細胞病理学実習	3前		1		1		1	2	0		
	臨床血液学 I	1後	1			1	1					
	臨床血液学 II	2前	1			1	1					
	臨床血液学実習	2後	1			1	1					
	生殖医療概論	4前		1			1					
	臨床応用細胞学	4前		1		1						
	小計(8科目)	-	5	3	0	2	1	2	0	0	0	0
	臨床生化学 I	2前	2			1		1				
	臨床生化学 II	2後	2			2						
	臨床生化学実習	3前		3		1	1				1	
	放射性同位元素検査学	3前	2									1
	先進医療検査学	4前		1		1						
	検査機器総論	1前	1			2	1	2				
	基礎機器分析実習	1後	1			1	3	1				
	小計(7科目)	-	8	4	0	3	4	2	0	1	1	1
	臨床微生物学 I	1後	1						1	1		
	臨床微生物学 II	2前	1						1	1		
	臨床微生物学実習	2後	1						1	1		
	臨床免疫学 I	2前	1								1	
	臨床免疫学 II	2後	1								1	
	臨床免疫学実習	3前		1							1	
遺伝子検査学	2前	1				1						
遺伝子検査学実習	2前	1				2						
臨床遺伝学	4前		1			1						
感染制御学概論	4前		1				1					
医療コーディネータ概論	4前		1			1						
疾患モデル管理学	4前		1								1	
小計(12科目)	-	7	5	0	0	3	1	1	0	1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	2前	2			1	1				
		臨床生理検査学Ⅱ	2後	2			1	2				
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1	1				
		画像検査学	4前		1		1	2				
		臨床生理検査学実習	3前		3		1	4				
		実践超音波検査学	4前		1			2				
		小計(6科目)	-	6	5	0	1	4	0	0	0	0
	検査総合管理学	精度管理学	3前	1				1				
		臨床検査学総論Ⅰ	1後	2					2			
		臨床検査学総論Ⅱ	2前	2					1	1		
		臨床検査学総論実習	2後	3					2	1		
		臨床検査管理学総論	4前		1		1	1	1			1
		総合臨床検査学Ⅰ	3後		2		5	2	4	1		
		総合臨床検査学Ⅱ	4後		4		5	2	4	1		
		総合臨床検査技術演習	3後		1		7	7	6	4	1	
総合基礎医学特論		4後		2		1	2		2			
臨床医学特論		4後		2				1			1	
小計(10科目)	-	8	12	0	7	8	7	4	1	2		
医療安全管理学	医療安全管理学	4前		1							1	
	医用機器安全管理学	3後		2		1						
	医用機器安全管理学実習	4前		1		1						
	小計(3科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	
医用生体工学	生体物性工学	3前		1							4	
	医用材料工学	3前		1			1					
	総合基礎工学特論	4後		2			1				3	
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	1	0	0	0	5	
医用機器学	医用機器学概論	2後	1			2	1	2				
	生体計測装置学	3後		1		1						
	生体計測装置学実習Ⅰ	3後		1		1	2					
	生体計測装置学実習Ⅱ	4前		1		1						
	医用治療機器学	3後		2				1				
	医用治療機器学実習	4前		1				1				
	小計(6科目)	-	1	6	0	3	3	2	0	0	0	
生体機能代行技術学	呼吸機能代行技術学	3後		2							1	
	循環機能代行技術学	3後		2				1				
	代謝機能代行技術学	3後		2			1					
	呼吸機能代行技術学実習	4前		1		1		1				
	循環機能代行技術学実習	4前		1				1				
	代謝機能代行技術学実習	4前		1			1					
	臨床工学特論	4後		2		2	1	2				
	小計(7科目)	-	0	11	0	2	1	2	0	0	1	
臨地実習	臨地実習Ⅰ	3後		4		1						
	臨地実習Ⅱ	3後		4		1						
	臨地実習Ⅲ	4前		4		1						
	小計(3科目)	-	0	12	0	2	0	0	0	0	0	
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4通		7		7	7	6	4			
	卒業研究Ⅱ	4通		2		2	2	2			4	
	小計(2科目)	-	0	9	0	9	9	8	4	0	4	
合計(75科目)	-	40	78	0	9	9	8	4	0	11		
自由科目	産業医学	3前			2	1					4	
	健康食品概論	3前			2						1	
	食品衛生学	3前			2	1						
	食品衛生関係法規	4前			1	1						
	労働衛生及び衛生工学	2後			2	1					2	
	労働安全衛生法	2前			3						1	
	労働基準法	2前			1						1	
	医療事務概論	3前			1						3	
	インターンシップ	1・2・3・4前			2	1						
	国際医学概論	1前			1	1						
	再生医療技術学	4前			1	1						
小計(11科目)	-	0	0	18	4	0	0	0	0	9		
総合計(143科目)	-	86	101	18	9	9	8	4	1	38		
卒業要件及び履修方法												
基礎分野科目26単位以上(「人間と生活」の選択科目3単位以上と「コミュニケーション技法の基盤」の選択科目2単位含む)、専門基礎分野科目25単位以上、専門分野科目40単位以上を修得し、合計129単位以上履修した上で卒業試験に合格すること。なお、特別教育活動(アゼンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)但し自由科目を除く)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	2前	2			1	1				
		臨床生理検査学Ⅱ	2後	2			1	2				
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1	1				
		画像検査学	4前		1		1	2				
		臨床生理検査学実習	3前		3		1	4				
		実践超音波検査学	4前		1			2				
		小計(6科目)	-	6	5	0	1	4	0	0	0	0
	検査総合管理学	精度管理学	3前	1				1				
		臨床検査学総論Ⅰ	1後	2					2	1		
		臨床検査学総論Ⅱ	2前	2					1	1		
		臨床検査学総論実習	2後	3					2	1		
		臨床検査管理学総論	4前		1		1	1	1			1
		総合臨床検査学Ⅰ	3後		2		5	2	4	5	0	
		総合臨床検査学Ⅱ	4後		4		5	2	4	4	1	
		総合臨床検査技術演習	3後		1		7	7	7	7	3	1
総合基礎医学特論		4後		2		1	2		2			
臨床医学特論		4後		2				1			1	
小計(10科目)	-	8	12	0	7	8	8	3	1	2		
医療安全管理学	医療安全管理学	4前		1							1	
	医用機器安全管理学	3後		2		1						
	医用機器安全管理学実習	4前		1		1						
	小計(3科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	
医用生体工学	生体物性工学	3前		1							4	
	医用材料工学	3前		1			1					
	総合基礎工学特論	4後		2			1				3	
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	1	0	0	0	5	
医用機器学	医用機器学概論	2後	1			2	1	2				
	生体計測装置学	3後		1		1						
	生体計測装置学実習Ⅰ	3後		1		1	2					
	生体計測装置学実習Ⅱ	4前		1		1						
	医用治療機器学	3後		2				1				
	医用治療機器学実習	4前		1				1				
	小計(6科目)	-	1	6	0	3	3	2	0	0	0	
生体機能代行技術学	呼吸機能代行技術学	3後		2							1	
	循環機能代行技術学	3後		2				1				
	代謝機能代行技術学	3後		2			1					
	呼吸機能代行技術学実習	4前		1		1		1				
	循環機能代行技術学実習	4前		1				1				
	代謝機能代行技術学実習	4前		1			1					
	臨床工学特論	4後		2		2	1	2				
	小計(7科目)	-	0	11	0	2	1	2	0	0	1	
臨地実習	臨地実習Ⅰ	3後		4		1						
	臨地実習Ⅱ	3後		4		1						
	臨地実習Ⅲ	4前		4		1						
	小計(3科目)	-	0	12	0	2	0	0	0	0	0	
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4通		7		7	7	7	7	3		
	卒業研究Ⅱ	4通		2		2	2	2			4	
	小計(2科目)	-	0	9	0	9	9	7	3	0	4	
合計(75科目)	-	40	78	0	9	9	9	3	0	11		
自由科目	産業医学	3前			2	1					4	
	健康食品概論	3前			2						1	
	食品衛生学	3前			2	1						
	食品衛生関係法規	4前			1	1						
	労働衛生及び衛生工学	2後			2	1					2	
	労働安全衛生法	2前			3						1	
	労働基準法	2前			1						1	
	医療事務概論	3前			1						3	
	インターンシップ	1・2・3・4前			2	1						
	国際医学概論	1前			1	1						
	再生医療技術学	4前			1	1						
小計(11科目)	-	0	0	18	4	0	0	0	0	10		
総合計(143科目)	-	86	101	18	9	9	9	3	1	45		
卒業要件及び履修方法												
基礎分野科目26単位以上(「人間と生活」の選択科目3単位以上と「コミュニケーション技法の基盤」の選択科目2単位含む)、専門基礎分野科目25単位以上、専門分野科目40単位以上を修得し、合計129単位以上履修した上で卒業試験に合格すること。なお、特別教育活動(アゼンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)但し自由科目を除く)												

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の深化を図るため、「細胞生物学」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・専門性の深化を図るため、「分子生物学」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・教育効果を考慮し、「教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。 ・教育効果を考慮し、「音楽療法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。 ・教員の負担軽減を考慮し、授業の充実を図るため、「スポーツ・健康科学」の兼任・兼任を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・授業の充実を図るため、「医療コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授1、兼任・兼任1」から「教授3、准教授1、助教1、兼任・兼任1」に変更。 ・専門性の高い教員配置を図るため、「解剖学Ⅰ」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授1、准教授1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。 ・専門性の高い教員配置を図るため、「解剖学Ⅱ」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「准教授1、助教1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。 ・提出時書類の記載誤りのため、「生化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。 ・専門性の深化を図るため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。 ・専門性の深化を図るため、「生体防御学」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。 ・授業の充実を図るため、「医療検査学入門Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1」から「教授5、准教授1、講師1」に変更。 ・授業の充実を図るため、「医療検査学入門Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授9、准教授7、講師8、助教3、助手1、兼任・兼任1」に変更。 ・実習指導の充実を図るため、「情報科学実習」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師1」から「講師1、兼任・兼任2」に変更。 ・専門性の高い教員配置を図るため、「検査機器総論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。 ・専門性のより高い教員配置及び教員の負担軽減を考慮し、「基礎機器分析実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。 ・授業の充実を図るため、「臨床微生物学Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。 ・授業の充実を図るため、「臨床検査学総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師2、助教1」に変更。 ・専門性の高い教員配置を図るため、「インターンシップ」の専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。 ・職位変更のため、「組織学実習」、「人体解剖学実習」、「臨床細胞病理学Ⅱ」、「臨床細胞病理学実習」、「総合臨床検査学Ⅰ」、「総合臨床検査学技術演習」、「卒業研究Ⅰ」の助教数を1減、講師数を1増にそれぞれ変更。
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
70 科目	62 科目	11 科目	143 科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{143} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	132,000.49㎡	0.00㎡	0.00㎡	132,000.49㎡				
	運動場用地	46,351.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	46,351.00㎡				
	小 計	178,351.49㎡	0.00㎡	0.00㎡	178,351.49㎡				
	そ の 他	84,081.18㎡	0.00㎡	0.00㎡	84,081.18㎡				
	合 計	262,432.67㎡	0.00㎡	0.00㎡	262,432.67㎡				
(2) 校舎	専 用	81,879.93㎡	0.00㎡	0.00㎡	81,879.93㎡				
	(81,879.93㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(81,879.93㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	72室	64室	128室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療科学部 医療検査学科			28 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 ・図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料は新規購入と除籍のため変更(元) ・機械・器具は老朽化により廃棄の為減(元)	
	医療科学部 医療検査学科	179,622 [80,898] (170,837 [81,202]) (-179,622 [-80,898])	3,454 [1,886] (3,517 [1,896]) (-3,454 [-1,886])	3,161 [1,875] (3,248 [1,888]) (-3,161 [-1,875])	4,592 (2,136) (-4,592)	7,982 (8,022) (-7,982)	15 (15)		
	計	179,622 [80,898] (170,837 [81,202]) (-179,622 [-80,898])	3,454 [1,886] (3,517 [1,896]) (-3,454 [-1,886])	3,161 [1,875] (3,248 [1,888]) (-3,161 [-1,875])	4,592 (2,136) (-4,592)	7,982 (8,022) (-7,982)	15 (15)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,364.49㎡		280	200,000冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,344.71㎡		弓 道 場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教員1人当たりの研究費と共同研究費は教員の増減のため変更(元)
		教員1人当たり研究費等	871千円 784千円	728千円 723千円	図書購入費	429千円	148千円	458千円	
		共同研究費等	1,670千円	5,140千円 4,740千円	設備購入費	5,652千円	1,949千円	6,042千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	藤田医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医学部	6	120	—	705	—	1.00	—	昭和47年度	—	平成27年度入学定員増(5名)
医学科	6	120	—	705	学士 (医学)	1.00	—	昭和47年度	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	平成28年度入学定員増(5名)
医療科学部	4	230	—	815	—	1.10	—	平成20年度	—	
医療検査学科	4	140	—	560	学士 (医療検査科学)	1.00	—	平成31年度	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
臨床検査学科	4	—	—	—	学士 (保健衛生学)	—	—	昭和43年度	同上	平成31年4月学生募集停止
看護学科	4	—	—	—	学士 (看護学)	—	—	昭和43年度	同上	平成31年4月学生募集停止
放射線学科	4	90	—	255	学士 (診療放射線技術学)	1.10	—	昭和62年度	同上	平成31年4月定員増(35名)
リハビリテーション学科	4	—	—	—	学士(理学療法学) 学士(作業療法学)	—	—	平成16年度	同上	平成31年4月学生募集停止
理学療法専攻	4	—	—	—	学士 (理学療法学)	—	—	平成16年度	同上	平成31年4月学生募集停止
作業療法専攻	4	—	—	—	学士 (作業療法学)	—	—	平成16年度	同上	平成31年4月学生募集停止
臨床工学科	4	—	—	—	学士 (臨床工学)	—	—	平成20年度	同上	平成31年4月学生募集停止
医療経営情報学科	4	—	—	—	学士 (医療経営情報学)	—	—	平成20年度	同上	平成31年4月学生募集停止
保健衛生学部	4	250	—	1,000	—	1.00	—	平成31年度	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
看護学科	4	135	—	540	学士 (看護学)	1.00	—	平成31年度	同上	
リハビリテーション学科	4	115	—	460	学士(理学療法学) 学士(作業療法学)	1.00	—	平成31年度	同上	
理学療法専攻	4	70	—	280	学士 (理学療法学)	1.00	—	平成31年度	同上	
作業療法専攻	4	45	—	180	学士 (作業療法学)	1.00	—	平成31年度	同上	
大学全体	—	600	—	2,520	—	1.10	—	—	—	
大学の名称	藤田医科大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医学研究科	4	52	—	208	—	0.73	—	昭和53年度	—	
医学専攻	4	52	—	208	博士 (医学)	0.73	—	平成30年度	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
形態系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和53年度	同上	平成30年4月学生募集停止
機能系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和53年度	同上	平成30年4月学生募集停止
保健衛生系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和53年度	同上	平成30年4月学生募集停止
分子医学系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和62年度	同上	平成30年4月学生募集停止
内科系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和53年度	同上	平成30年4月学生募集停止
外科系専攻	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	昭和53年度	同上	平成30年4月学生募集停止
保健学研究科	—	58	—	116	—	1.25	—	平成13年度	—	
保健学専攻	2	50	—	100	修士(保健学) 修士(看護学)	1.08	—	平成13年度	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
医療科学専攻	3	8	—	16	博士 (医療科学)	1.66	—	平成27年度	同上	平成31年4月定員増(4名)
大学院全体	—	110	—	324	—	1.05	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療科学部 医療検査学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授	秋山 秀彦 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	秋山 秀彦 <令和4年4月> 博士(医学)												
		医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床血液学Ⅰ※ 臨床血液学Ⅱ※ 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 総合臨床検査学Ⅰ※ 臨床応用細胞学 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ インターンシップ 再生医療技術学			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 臨床血液学Ⅰ※ 臨床血液学Ⅱ※ 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 総合臨床検査学Ⅰ※ 臨床応用細胞学 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ インターンシップ 再生医療技術学												
		齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士			齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士										齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	
		国際医学概論 生化学Ⅰ※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅱ※ 病態生化学※ 総合臨床検査技術演習 先進医療検査学 臨床検査管理学総論※ 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 国際医学概論 検査機器総論※ 生化学Ⅰ※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅱ※ 病態生化学※ 総合臨床検査技術演習 先進医療検査学 臨床検査管理学総論※ 卒業研究Ⅰ										安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士
		医学概論 解剖学Ⅰ 組織学実習 病理学 臨床細胞病理学Ⅰ 人体解剖学実習 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			医学概論※ 医療検査学入門Ⅱ※ 解剖学Ⅰ 組織学実習 病理学 臨床細胞病理学Ⅰ 人体解剖学実習 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※										市野 直浩 <平成31年4月> 博士(医学)	市野 直浩 <平成31年4月> 博士(医学)	市野 直浩 <平成31年4月> 博士(医学)
専	教授(学科長)	医療検査学入門Ⅰ※ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学Ⅲ※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※	専	教授(学科長)	医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学Ⅲ※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※												
専	教授	大橋 勉二 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	大橋 勉二 <令和3年4月> 博士(医学)												
		医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床生化学Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅱ 臨床生化学Ⅱ※ 病態生化学※ 臨床生化学実習 代謝栄養学 食品衛生学 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 食品衛生関係法規 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床生化学Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅱ 臨床生化学Ⅱ※ 病態生化学※ 臨床生化学実習 代謝栄養学 食品衛生学 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 食品衛生関係法規 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授	鈴木 康司 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	鈴木 康司 <令和4年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅰ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 医療統計学 労働衛生及び衛生工学※ 産業医学※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ 総合基礎医学特論※			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 医療コミュニケーション演習Ⅰ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 医療統計学 労働衛生及び衛生工学※ 産業医学※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ 総合基礎医学特論※									
専	教授	竹松 弘 <平成31年4月> 博士(薬学)	専	教授	竹松 弘 <平成31年4月> 博士(薬学)									
		化学 医療応用化学 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			化学 医療応用化学 生体防御学※ 医療検査学入門Ⅱ※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
専	教授	井平 勝 <令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	井平 勝 <令和4年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 生体計測装置学 生体計測装置学実習Ⅱ 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※			医療コミュニケーション演習Ⅰ 医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 生体計測装置学 生体計測装置学実習Ⅱ 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※									
専	教授	日比谷 信 <令和3年4月> 博士(医学)	専	教授	日比谷 信 <令和3年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 呼吸機能代行技術学実習 臨地実習Ⅲ 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 呼吸機能代行技術学実習 臨地実習Ⅲ 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※									
専	准教授	千原 猛 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	千原 猛 <令和4年4月> 博士(医学)									
		生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 基礎機器分析実習 病態生化学※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ 総合基礎医学特論※			生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 基礎機器分析実習 病態生化学※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※ 総合基礎医学特論※									
専	准教授	石川 浩章 <平成31年4月> 博士(医学)	専	准教授	石川 浩章 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 生化学Ⅰ※ 生化学Ⅱ※ 臨床生化学実習 精度管理学 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 生化学Ⅰ※ 生化学Ⅱ※ 臨床生化学実習 精度管理学 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	准教授	刑部 恵介 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	刑部 恵介 <令和4年4月> 博士(医学)									
		医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 実践超音波検査学 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 実践超音波検査学 卒業研究Ⅰ									
専	准教授	杉本 恵子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	准教授	杉本 恵子 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅱ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学Ⅲ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 実践超音波検査学 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学Ⅲ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ 画像検査学※ 実践超音波検査学 卒業研究Ⅰ									
専	准教授	山本 康子 <令和2年4月> 博士(保健学)	専	准教授	山本 康子 <令和2年4月> 博士(保健学)									
		生化学Ⅱ※ 基礎機器分析実習 遺伝子検査学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			生化学Ⅱ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 基礎機器分析実習 遺伝子検査学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
専	准教授	大江 瑞恵 <令和2年4月> 博士(医学)	専	准教授	大江 瑞恵 <令和2年4月> 博士(医学)									
		総合講座 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 生殖医療概論 臨床遺伝学 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			総合講座 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 臨床血液学Ⅰ※ 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 生殖医療概論 臨床遺伝学 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※									
専	准教授	毛利 彰宏 <平成31年4月> 博士(医学)	専	准教授	毛利 彰宏 <平成31年4月> 博士(医学)									
		生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 基礎機器分析実習 薬理学概論 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 臨床薬理学 臨床検査管理学総論※ 医療コーディネーター概論 卒業研究Ⅰ			生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 基礎機器分析実習 薬理学概論 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 臨床薬理学 臨床検査管理学総論※ 医療コーディネーター概論 卒業研究Ⅰ									
専	准教授	大橋 篤 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	大橋 篤 <令和4年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 医用材料工学 代謝機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※ 総合基礎工学特論※			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 医用材料工学 代謝機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※ 総合基礎工学特論※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	酒井 一由 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	酒井 一由 <令和4年4月> 博士(医学)									
		解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※ 組織学実習 人体解剖学実習 卒業研究Ⅱ 総合基礎医学特論			医療コミュニケーション演習Ⅰ 解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※ 組織学実習 人体解剖学実習 卒業研究Ⅱ 総合基礎医学特論									
専	講師	楠原 康弘 <令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	楠原 康弘 <令和4年4月> 博士(医学)									
		臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
専	講師	金子 千之 <令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	金子 千之 <令和4年4月> 博士(医学)									
		臨床細胞病理学Ⅰ※ 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 臨床細胞病理学Ⅰ※ 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
専	講師	今村 誠司 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	今村 誠司 <平成31年4月> 博士(医学)									
		生体防御学※ 検査機器総論※ 臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床微生物学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 感染制御学概論 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			生体防御学※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 臨床微生物学Ⅰ※ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床微生物学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅰ※ 感染制御学概論 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※									
専	講師	厚味 高広 <平成31年4月> 保健衛生学士	専	講師	厚味 高広 <平成31年4月> 保健衛生学士									
		医療検査学入門Ⅰ※ 情報科学 情報科学実習 医用工学※ 医用工学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			医療検査学入門Ⅰ※ 情報科学 情報科学実習 医用工学※ 医用工学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※									
専	講師	星 雅人 <令和2年4月> 博士(医学)	専	講師	星 雅人 <令和2年4月> 博士(医学)									
		臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※									
専	講師	藤垣 英嗣 <令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	藤垣 英嗣 <令和4年4月> 博士(医学)									
		検査機器総論※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅰ※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 臨床検査管理学総論※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※			医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅰ※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※ 臨床検査管理学総論※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	講師	川口 和紀 <令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	川口 和紀 <令和4年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 循環機能代行技術学 循環機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 循環機能代行技術学 循環機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※									
専	講師	堀 秀生 <令和3年4月> 博士(医学)	専	講師	堀 秀生 <令和3年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 医用治療機器学 医用治療機器学実習 呼吸機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※ 臨床医学特論※			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 医用治療機器学 医用治療機器学実習 呼吸機能代行技術学実習 卒業研究Ⅱ 臨床工学特論※ 臨床医学特論※									
専	助教	塩籠 和也 <令和3年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	専	講師	塩籠 和也 <令和3年4月> 博士(医学) 修士(保健学)									
		解剖学Ⅱ 組織学実習 臨床細胞病理学Ⅱ 人体解剖学実習 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査Ⅱ※ 総合基礎医学特論※			解剖学Ⅱ 医療検査学入門Ⅱ※ 組織学実習 臨床細胞病理学Ⅱ 人体解剖学実習 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 総合臨床検査Ⅱ※ 総合基礎医学特論※									
専	助教	東本 祐紀 <令和4年4月> 修士(保健学)	専	助教	東本 祐紀 <令和4年4月> 修士(保健学) 博士(医学)									
		生体防御学※ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床微生物学実習 臨床免疫学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ 総合基礎医学特論※			生体防御学※ 医療検査学入門Ⅱ※ 臨床微生物学Ⅰ※ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床微生物学実習 臨床免疫学実習 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ 総合基礎医学特論※									
専	助教	仲本 賢太郎 <令和4年4月> 博士(医学)	専	助教	仲本 賢太郎 <令和4年4月> 博士(医学)									
		臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
専	助教	藤井 亮輔 <令和3年4月> 博士(医療技術学) 修士(医療技術学)	専	助教	藤井 亮輔 <令和3年4月> 博士(医療技術学) 修士(医療技術学)									
		公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ			医療コミュニケーション演習Ⅰ 医療検査学入門Ⅱ※ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 総合臨床検査技術演習 卒業研究Ⅰ									
兼任	教授	秋山 秀彦 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	秋山 秀彦 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床血液学Ⅰ※ 臨床血液学Ⅱ※ 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 総合臨床検査Ⅰ※			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 臨床血液学Ⅰ※ 臨床血液学Ⅱ※ 臨床血液学実習 総合臨床検査技術演習 臨床病態学Ⅲ 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 総合臨床検査Ⅰ※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	教授	大橋 勉二 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大橋 勉二 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床生化学Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅱ 臨床生化学Ⅱ※			医療検査学入門Ⅰ※ 検査機器総論※ 臨床生化学Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅰ 医療コミュニケーション演習Ⅱ 臨床生化学Ⅱ※									
兼任	教授	鈴木 康司 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鈴木 康司 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医療検査学入門Ⅰ※ 医療コミュニケーション演習Ⅰ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 医療統計学 労働衛生及び衛生工学※ 産業医学※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査Ⅰ※			医療検査学入門Ⅰ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 医療コミュニケーション演習Ⅰ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※ 医療統計学 労働衛生及び衛生工学※ 産業医学※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査Ⅰ※									
兼任	教授	井平 勝 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	井平 勝 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 生体計測装置学			医療コミュニケーション演習Ⅰ 医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 生体計測装置学									
兼任	教授	日比谷 信 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	日比谷 信 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※			医療検査学入門Ⅰ 医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※									
兼任	教授	中井 滋 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中井 滋 <平成31年4月> 博士(医学)									
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ 臨床病態学演習 医療安全管理学 卒業研究Ⅱ 臨床医学特論※			医学概論※ 臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ 臨床病態学演習 医療安全管理学 卒業研究Ⅱ 臨床医学特論※									
兼任	教授	米本 倉基 <令和2年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	兼任	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)									
		社会保障制度概論 臨床検査管理学総論※			社会保障制度概論 臨床検査管理学総論※ インターンシップ									
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)	兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)									
		安全救急法			安全救急法									
兼任	教授	浅田 恭生 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	浅田 恭生 <令和3年4月> 博士(医学)									
		産業医学※ 電気工学実習			産業医学※ 電気工学実習									
兼任	教授	佐藤 芳 <令和2年4月> 哲学博士	兼任	教授	佐藤 芳 <令和2年4月> 哲学博士									
		総合講座			総合講座									
兼任	教授	鴨下 淳一 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(理学)												
		物理学												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	教授	長尾 静子 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	長尾 静子 <令和4年4月> 博士(医学)									
		疾患モデル管理学			疾患モデル管理学									
兼任	教授	若月 徹 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(体育学)												
		スポーツ・健康科学												
兼任	准教授	千原 猛 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	千原 猛 <平成31年4月> 博士(医学)									
		生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 基礎機器分析実習 病態生化学※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※			生理学Ⅰ※ 生理学Ⅱ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 基礎機器分析実習 病態生化学※ 臨床生理検査学実習 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※									
兼任	准教授	刑部 恵介 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	刑部 恵介 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ			医療検査学入門Ⅱ※ 医用工学実習 臨床生理検査学Ⅰ※ 臨床生理検査学Ⅱ※ 臨床生理検査学実習 臨床病態学Ⅲ 総合臨床検査技術演習 生体計測装置学実習Ⅰ									
兼任	准教授	山本 康子 <平成31年4月> 博士(保健学)	兼任	准教授	山本 康子 <平成31年4月> 博士(保健学)									
		生化学Ⅱ※ 基礎機器分析実習			生化学Ⅱ※ 医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 基礎機器分析実習									
兼任	准教授	大橋 篤 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	大橋 篤 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 医用材料工学 代謝機能代行技術学			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 医用材料工学 代謝機能代行技術学									
兼任	准教授	酒井 一由 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	酒井 一由 <平成31年4月> 博士(医学)									
		解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※ 組織学実習 人体解剖学実習			医療コミュニケーション演習Ⅰ 解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※ 組織学実習 人体解剖学実習									
兼任	准教授	松下 文雄 <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	兼任	准教授	松下 文雄 <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)									
		細胞生物学 分子生物学			細胞生物学 分子生物学									
兼任	准教授	堀内 ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	准教授	堀内 ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)									
		英語Ⅰ 英語Ⅲ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ									
兼任	准教授	白川 誠士 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	白川 誠士 <令和3年4月> 博士(医学)									
		放射性同位元素検査学			放射性同位元素検査学									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	寺本 篤司 <令和3年4月> 博士(工学)	生体物性工学※ 電気工学実習	兼任	准教授	寺本 篤司 <令和3年4月> 博士(工学)	生体物性工学※ 電気工学実習								
兼任	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)	数学 統計学 応用数学 卒業研究Ⅱ	兼任	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)	数学 統計学 応用数学 卒業研究Ⅱ								
兼任	准教授	作佐部 太也 <平成31年4月> 博士(医学)	医用工学※ 生体物性工学※ 機械工学 卒業研究Ⅱ 総合基礎工学特論※	兼任	准教授	作佐部 太也 <平成31年4月> 博士(医学)	医用工学※ 生体物性工学※ 機械工学 卒業研究Ⅱ 総合基礎工学特論※								
兼任	准教授	服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics (豪州)	英語Ⅱ 英語Ⅳ	兼任	准教授	服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics (豪州)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅳ								
兼任	准教授	朝居 朋子 <平成31年4月> 修士(法学)	法学	兼任	准教授	朝居(城) 朋子 <平成31年4月> 修士(法学)	法学								
兼任	准教授	谷脇 弘茂 <令和3年4月> 医学博士	産業医学※	兼任	准教授	谷脇 弘茂 <令和3年4月> 医学博士	産業医学※								
兼任	准教授	武藤 晃一 <令和3年4月> 修士(工学)	情報処理学 システム工学 総合基礎工学特論※	兼任	准教授	武藤 晃一 <平成31年4月> 修士(工学)	情報科学実習 情報処理学 システム工学 総合基礎工学特論※								
兼任	講師	楠原 康弘 <平成31年4月> 博士(医学)	臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習	兼任	講師	楠原 康弘 <平成31年4月> 博士(医学)	医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習								
兼任	講師	金子 千之 <令和2年4月> 博士(医学)	臨床細胞病理学Ⅰ※ 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習	兼任	講師	金子 千之 <平成31年4月> 博士(医学)	医療検査学入門Ⅱ※ 臨床細胞病理学Ⅰ※ 臨床細胞病理学実習 総合臨床検査技術演習								
兼任	講師	星 雅人 <平成31年4月> 博士(医学)	臨床検査学総論Ⅰ※	兼任	講師	星 雅人 <平成31年4月> 博士(医学)	医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※								
兼任	講師	藤垣 英嗣 <平成31年4月> 博士(医学)	検査機器総論※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅰ※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※	兼任	講師	藤垣 英嗣 <平成31年4月> 博士(医学)	医療検査学入門Ⅱ※ 検査機器総論※ 基礎機器分析実習 臨床生化学Ⅰ※ 総合臨床検査技術演習 総合臨床検査学Ⅰ※								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	川口 和紀 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	川口 和紀 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論※ 循環機能代行技術学			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論※ 循環機能代行技術学									
兼任	講師	堀 秀生 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	堀 秀生 <平成31年4月> 博士(医学)									
		医用機器学概論			医療検査学入門Ⅱ※ 医用機器学概論									
兼任	助教	塩竈 和也 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	兼任	講師	塩竈 和也 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)									
		解剖学Ⅱ 組織学実習 臨床細胞病理学Ⅱ 人体解剖学実習			解剖学Ⅱ 組織学実習 医療検査学入門Ⅱ※ 臨床細胞病理学Ⅱ 人体解剖学実習									
兼任	助教	東本 祐紀 <平成31年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	東本 祐紀 <平成31年4月> 修士(保健学)									
		生体防御学※ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床微生物学実習 臨床免疫学実習 総合臨床検査技術演習			生体防御学※ 医療検査学入門Ⅱ※ 臨床微生物学Ⅰ※ 臨床微生物学Ⅱ※ 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床微生物学実習 臨床免疫学実習 総合臨床検査技術演習									
兼任	助教	仲本 賢太郎 <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	助教	仲本 賢太郎 <平成31年4月> 博士(医学)									
		臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習			医療検査学入門Ⅱ※ 臨床検査学総論Ⅰ※ 臨床検査学総論Ⅱ※ 臨床検査学総論実習 関係法規※ 総合臨床検査技術演習									
兼任	助教	藤井 亮輔 <令和2年4月> 博士(医療技術学) 修士(医療技術学)	兼任	助教	藤井 亮輔 <平成31年4月> 博士(医療技術学) 修士(医療技術学)									
		公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※			医療コミュニケーション演習Ⅰ 医療検査学入門Ⅱ※ 公衆衛生学※ 公衆衛生学実習 疫学※									
兼任	助教	山崎 一徳 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)	兼任	助教	山崎 一徳 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)									
		生体物性工学※ 計測工学 電気工学 電子工学 電子工学実習 卒業研究Ⅱ 総合基礎工学特論※			生体物性工学※ 計測工学 電気工学 電子工学 電子工学実習 卒業研究Ⅱ 総合基礎工学特論※									
兼任	助教	村田 幸則 <令和3年4月> 修士(情報管理学)	兼任	助教	村田 幸則 <令和3年4月> 修士(情報管理学)									
		医療事務概論			医療事務概論									
兼任	助教	廣瀬 大輔 <令和3年4月> 修士(看護学)	兼任	助教	廣瀬 大輔 <令和3年4月> 修士(看護学)									
		看護学概論			看護学概論									
兼任	助教	中谷 直史 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(栄養学)	兼任	助教	中谷 直史 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(栄養学)									
		医用工学※ 生体物性工学※			医用工学※ 生体物性工学※									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
			兼任	教授	金平 蓮 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(工学)									
					中国語									
			兼任	教授	伊藤 康宏 <令和3年4月> 博士(医学)									
					呼吸機能代行技術学									
			兼任	教授	石川 道夫 <平成31年4月> 修士(文学)									
					教育学									
			兼任	教授	榊原 正義 <平成31年4月> 文学士									
					ドイツ語									
			兼任	教授	栗田 秀樹 <令和2年4月> 医学博士									
					産業医学※ 労働衛生及び衛生工学※									
			兼任	教授	塩澤 浩 <令和2年4月> 学士(経済学)									
					労働安全衛生法 労働基準法									
			兼任	教授	松井 太衛 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(理学)									
					細胞生物学※ 分子生物学※ 医療検査学入門Ⅱ※									
			兼任	教授	亀井 哲也 <平成31年4月> 博士(医学)									
					情報科学実習									
			兼任	教授	伊藤 康宏 <平成31年4月> 博士(医学)									
					医療検査学入門Ⅱ※									
			兼任	准教授	大江 瑞恵 <平成31年4月> 博士(医学)									
					臨床血液学Ⅰ※									
			兼任	准教授	梅沢 栄三 <平成31年4月> 博士(理学)									
					物理学									
			兼任	助教	桂華 麻希 <平成31年4月> 修士(教育学)									
					スポーツ・健康科学									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	教授	長岡 芳 <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	長岡 芳 <令和2年4月> 医学博士									
		産業医学※ 労働衛生及び衛生工学※			産業医学※ 労働衛生及び衛生工学※									
兼任	教授	別府 秀彦 <令和3年4月> 医学博士	兼任	教授	別府 秀彦 <令和3年4月> 医学博士									
		健康食品概論			健康食品概論									
兼任	准教授	黒野 伸子 <令和3年4月> 修士(福祉経営学)	兼任	准教授	黒野 伸子 <令和3年4月> 修士(福祉経営学)									
		医療事務概論※			医療事務概論※									
			兼任	准教授	尾之内 高慶 <平成31年4月> 博士(医学)									
					解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※									
兼任	講師	青柳 真紀子 <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	青柳 真紀子 <平成31年4月> 修士(学術)									
		心理学			心理学									
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)									
		文化人類学			文化人類学									
兼任	講師	三谷 竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	三谷 竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)									
		生命倫理学			生命倫理学									
兼任	講師	城盛 泉 <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)												
		音楽療法												
兼任	講師	石川 澄江 <令和3年4月> 専門学校卒	兼任	講師	石川 澄江 <令和3年4月> 専門学校卒									
		医療事務概論※			医療事務概論※									
			兼任	講師	勝間田 明子 <平成31年4月> 修士(教育学)									
					教育学									
			兼任	講師	伊藤 麻友子 <平成31年4月> 博士(学術)									
					音楽療法									
			兼任	講師	伊藤 惟 <平成31年4月> 修士(文学)									
					ドイツ語									
			兼任	助教	若月 翼 <平成31年4月> 修士(体育学)									
					スポーツ・健康科学									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	職員	中川 絵理 <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	職員	中川 絵理 <平成31年4月> 学士(文学)									
		医療コミュニケーション演習 I			医療コミュニケーション演習 I									
兼任	職員	井上 知重 <令和2年4月> 学士(経済学)	兼任	職員	井上 知重 <令和2年4月> 学士(経済学)									
		医療コミュニケーション演習 II			医療コミュニケーション演習 II									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・専門性の深化を図るため、「細胞生物学」に松井 太衛教授を兼任として追加。
- ・専門性の深化を図るため、「分子生物学」に松井 太衛教授を兼任として追加。
- ・教育内容を考慮し、「物理学」を鴨下 淳一教授から梅沢 栄三准教授に変更し、兼任として追加。
- ・石川 道夫教授の退職により、「教育学」を勝間田 明子講師に変更し、兼任として追加。
- ・城森 泉講師の退職により、「音楽療法」を伊藤 麻友子講師に変更し、兼任として追加。
- ・教員の負担軽減を考慮し、授業の充実を図るため、「スポーツ・健康科学」の若月 徹教授を桂華 麻希助教（兼任）と若月 翼助教（兼任）に変更。
- ・教育内容を考慮し、「英語Ⅰ」を堀内 ちとせ准教授から服部 しのぶ准教授に変更。
- ・教育内容を考慮し、「英語Ⅱ」を服部 しのぶ准教授から堀内 ちとせ准教授に変更。
- ・榊原 正義教授の退職により、「ドイツ語」を伊藤 惟講師に変更し、兼任として追加。
- ・授業の充実を図るため、「医療コミュニケーション演習Ⅰ」に大橋 鈺二教授、井平 勝教授、酒井 一由准教授、藤井 亮輔助教を追加。
- ・専門性のより高い教員配置を図るため、「解剖学Ⅰ」の安倍 雅人教授から尾之内 高慶准教授に変更し、兼任として追加。
- ・専門性のより高い教員配置を図るため、「解剖学Ⅱ」の塩竈 和也講師（提出時は助教、平成30年10月1日より講師へ職位変更）から尾之内 高慶准教授に変更し、兼任として追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医学概論」に中井 滋教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「生体防御学」に竹松 弘教授を追加。
- ・授業の充実を図るため、「医療検査学入門Ⅰ」に日比谷 信教授を追加。
- ・授業の充実を図るため、「医療検査学入門Ⅱ」に秋山 秀彦教授、安倍 雅人教授、伊藤 康宏教授、市野 直浩教授、井平 勝教授、齋藤 邦明教授、鈴木 康司教授、竹松 弘教授、松井 太衛教授、日比谷 信教授、石川 浩章准教授、大橋 鈺准教授、刑部 恵介准教授、千原 猛准教授、毛利 彰宏准教授、山本 康子准教授、今村 誠司講師、金子 千之講師、川口 和紀講師、楠原 康弘講師、塩竈 和也講師、藤垣 英嗣講師、星 雅人講師、堀 秀生講師、仲本 賢太郎助教、東本 祐紀助教、藤井 亮輔助教を追加。
- ・実習指導の充実を図るため、「情報科学実習」に亀井 哲也教授と武藤 晃一准教授を兼任として追加。
- ・提出時の記載漏れにより大江 瑞恵准教授に「臨床血液学Ⅰ」を追加（平成31年4月からは兼任、平成32年4月からは専任）。
- ・専門性のより高い教員配置を図るため、「検査機器総論」の秋山 秀彦教授、大橋鈺二教授、石川 浩章准教授、今村 誠司講師を齋藤 邦明教授、山本 康子准教授に変更。
- ・専門性のより高い教員配置及び教員の負担軽減を考慮し、「基礎機器分析実習」の毛利 彰宏准教授、千原 猛准教授を削除。
- ・授業の充実を図るため、「臨床微生物学Ⅰ」に東本 祐紀助教を追加。
- ・授業の充実を図るため、「臨床検査学総論Ⅰ」に仲本 賢太郎助教を追加。
- ・専門性の高い教員配置を図るため、「インターンシップ」の秋山 秀彦教授から米本 倉基教授に変更。
- ・提出時の記載間違いにより金平 蓮教授の専任・兼任・兼任の別を「兼任」から「兼任」に変更。
- ・提出時の記載間違いおよび担当科目の追加により伊藤康宏教授の専任・兼任・兼任の別を平成31年4月からは「兼任」として追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	9	8	4	30	4	3	2	0	9
(4)	(3)	(2)	(0)	(9)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	9	9	3	30	9	9	9	3	30
[5]	[6]	[7]	[3]	[21]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63 歳	0 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{30} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0 人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療科学部 医療検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
【学部の英語名称変更】 医療科学部 (School of Health Sciences)	医療科学部 (School of Medical Sciences) 変更年月日：平成31年4月1日

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

医療科学部における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行うこと、及び本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることを目的として、「藤田医科大学FD・SD委員会」を設置している。構成員は、学長補佐(教育担当)、各学部、各研究科より選出された教員、学長より選出された職員等である。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は、原則として月1回開催するものとしている。

c 委員会の審議事項等

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議、協議している。

- (1) FD又はSDの実施方針策定に関すること
- (2) FD又はSDの年間実施計画立案に関すること
- (3) FD又はSDの企画及び実施、若しくは実施の把握に関すること
- (4) FD又はSDの成果及び報告に関すること
- (5) FD又はSDの参加者の把握に関すること
- (6) FD又はSDに関する情報収集と啓発活動に関すること
- (7) その他委員会が必要と認めた事項に関すること

② 実施状況

a 実施内容

委員会において、各部門で授業を担当する教員を対象として、教育の質的水準を高めるために毎年実施する以下に掲げるFDについて、実施計画立案及び支援を行っている。

- (1) 学生による授業評価の分析結果に基づき、授業の改善を図るために学生代表者の参画を得て実施するFD

- (2) アセスメント・ポリシーを踏まえて、学修成果の評価・検証の仕組み等の理解を深め、適切な成績評価の実施を促すために実施するFD
- (3) 準備学習の具体的な内容や必要な時間、課題に対するフィードバックの方法等のシラバスに記載を求め、事項に係る設定や提示方法について認識を高め、より教育効果を高めるために実施するFD
- (4) 教育研究活動をサポートするTA（ティーチング・アシスタント）等の学生スタッフを参画させて、学生スタッフの資質の養成や向上を目的として実施するFD
- (5) 学生の実践的語学力の習得を目的として実施する外国語での授業法に関するFD
- (6) 他の国内の大学とのFD実施に係る協定の下に共同により専門教育分野に係る教育力向上を目的として年間4回以上実施するFD

b 実施方法

- (1) 外部講師を招聘し、講演会の実施
- (2) 各テーマによるグループワーキングの実施
- (3) 授業改善に関わる教員と学生間での意見交換会等の実施
- (4) 教員とTA（ティーチング・アシスタント）による意見交換会等の実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

5月1日現在、未実施であるが、以下の開催を予定している。

- (1) 令和元年5月：アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価についてのFD
- (2) 令和元年7月：授業評価アンケート結果の分析・検討内容に基づき、授業改善に向けて学生の代表者が参画するFD
- (3) 令和元年8月：学生の厚生・補導に関するSD
- (4) 令和元年8月：学生のモチベーションに関するFD
- (5) 令和元年8月：TA（教育サポートスタッフ）の資質向上を図るための研修FD
- (6) 令和元年12月：シラバス作成方法についてのFD

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 学生の能動的学習意欲を引き出すような学習法や教育法の開発及び推進を行う
- (2) 学生による授業評価及びその対応の内容を公開し、授業改善に資する
- (3) 第三者による自己点検・評価を受け、客観的な評価を吟味、活用し、教育内容、学生への支援体制及び教育環境などについて提案・改善する

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業の改善を図り、本学教育の質の一層の向上に資することを目的とし、毎年度、前期1回、後期1回の計2回、学生による授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業ごとの評価分析結果を教員及び学生へ学内掲示等で公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

高齢化が急速に進んでいる我が国において、2025年には65歳以上高齢者の人口の割合は30.3%となり、75歳以上高齢者は全人口の約25%に達する。このような現状の中、平成21年（2009年）よりチーム医療が医療の新たな在り方として注目され、推進されてきた。「経済・財政再生計画に沿った社会保障改革の推進（厚生労働省 平成28年）」の中で、チーム医療を行うための人材育成に関して「医療・福祉人材の最大活用のための養成課程の見直し」が提唱されている。その具体的な取り組みのひとつに医療・福祉の複数資格において、共通の基礎課程を創設し、その上に資格ごとの専門課程を置くという2階建ての養成課程へ編成することが挙げられている。

本学では、予想されている今後の社会的変化を十分に分析・理解した上で、これまで培ってきた本学の教育的資産を活かし、医療の発展あるいは地域医療にさらなる貢献をしていかなければならないと考えている。その考え方を基盤とし、さらに建学の理念に基づいて、チーム医療の一員として患者中心の専門職連携を実践することができる人材を育成することを目的とした2階建て養成課程の編成に対応する学科として医療検査学科を設置した。

医療検査学科では、臨床検査学科の教育課程を基軸として、そこに臨床工学技士養成課程を発展的に統合・融合した教育課程とし、臨床検査技師並びに臨床工学技士の養成を行う。教育課程の骨子として、まず1年次及び2年次に共通基礎課程として、一般教養科目、共通基礎科目、共通専門科目及び専門科目の一部を合同で履修する。その後、3年次からは臨床検査技師養成プログラム及び臨床工学技士養成プログラムに分かれ、それぞれの専門科目を履修する教育課程とする。これによって、生命維持や治療等の基礎的な知識を習得した臨床検査技師、あるいは検査結果を理解・評価し、それを基にした病態把握（診断、経過観察、予後判定）ができる基礎知識を習得した臨床工学技士を養成することができる。つまり、専門的知識のみならず幅広い知識を習得し、かつその専門的技術を有する医療従事者を養成することができる。さらに、チームの一員として他の職種を理解することも重要であるが、この点においても医療検査学科における教育課程の中で涵養することができる。

医療検査学科では、医療科学部及び医療検査学科のアドミッションポリシーに基づき、複数の入学者選抜方法によりその素養をもつ者を入学者として求めた。初年度にあたる平成31年の入学者数は、入学定員140名に対し140名（入学定員超過率1.00倍）と適正かつ厳格な定員管理を行った。開講予定科目については、未開講科目や廃止科目もなく予定通り開講されており、今後も所期の目的達成に向けて取り組んでいく。

また、医療科学部には、学修成果を設定された判断基準と比較して定量的かつ客観的に評価するためのアセスメントポリシーが策定されている。策定においては、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（学部）、教育課程レベル（学科・専攻）、科目レベル（個々の授業）の3段階で入学前・入学直後、在学中、卒業時・卒業後の学修成果を評価する方法を、評価指標とその評価時期と共に定めた。今後は、本学IR推進センター及び医療科学部教務委員会がそのデータを収集・分析・検討することにより、継続的かつ効果的な教育の改善等に活用していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年4月18日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度（2014年度）に評価機関（公益財団法人大学基準協会大学基準協会）の評価を受け、「適合」と認定を受けた。認定機関は、平成27年4月1日～令和4年3月31日

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ 特になし ）

- (注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。